



ハチドリ

令和元年12月20日
気仙沼市立大谷中学校
気仙沼市本吉町三島 60-4
TEL 44-2004
FAX 44-3742
はゆね・はやおき・あさごはん

学校保健委員会より

12月11日(水)に本校の学校医やPTA会長、PTA厚生部長、本吉共同調理場栄養職員の皆様にご参加いただき、学校保健委員会が行われました。会で話題となった事項をお知らせいたします。学校の指導改善に生かしていきたいと思いますが、ご家庭でのご協力もお願いいたします。

- ・本校では健全歯所有者、処置完了者の割合が低いので虫歯治療を行ってほしい。
- ・給食で味噌汁や副菜の残食が多い。学校、家庭で「何でも食べる」「感謝して食べる」指導をも必要である。
- ・親の食生活が子どもに影響を与える。小さい頃の食生活、食習慣が肥満の原因となることもあり、親が食生活をコントロールすることが大切である。
- ・気仙沼は県内でも歯科検診の結果が悪い。学校教育での歯磨き指導に加え、家庭内での教えが大切である。特に、寝る前に必ず歯磨きをして寝ること。
- ・口腔機能の低下が心配される。嚙まない(柔らかいものを食べる)、口呼吸が多いなど。
- ・インフルエンザ予防には、うがい・手洗いのほか、帰宅時に歯磨きをすることが有効である。

2年生 福祉体験学習

12月12日(木)5,6校時、2年生対象にした福祉体験学習が行われました。気仙沼市による市内中学校・介護サービス事業所連携事業「担い手育成事業」による出前授業として行われ、大谷デイサービスセンターと社会福祉協議会の職員の方が講師として来校しました。介護に関する座学と、車いす体験、高齢者の疑似体験を行いました。

～生徒の感想～

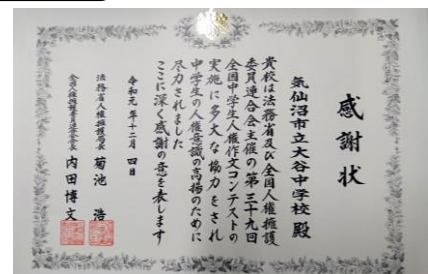
- ・高齢者の方への接し方を学ぶことができた。高齢者の人はあんなに大変な生活をしているんだと分かった。
- ・おじいさん、おばあさんは自分らしく生きたいと思っているので、支えてあげられたらなと思った。



おもりや動きを拘束するバンドをつけて段差を越えました

感謝状をいただきました

今年度、全国中学生人権作文コンテスト気仙沼地区大会において、2年生2名が入賞しました。一昨年、昨年も入賞しており、毎年、数多くの優秀な作品を出品していることに対し、法務省人権擁護局長様、全国人権擁護委員連合会会長様連名の感謝状をいただきました。



第39回全国中学生人権作文コンテスト気仙沼地区大会

奨励賞 2年 ※※※※

奨励賞 2年 ※※※※

第18回気仙沼向洋杯交流卓球大会

女子1学年の部 第3位 卓球部女子

登下校時の事故防止にご協力下さい

日没が早くなり、生徒の下校時にはかなり暗くなる季節になりました。見通しが悪かったり、路面が凍結したりと、交通事故の危険が高まります。特に学校周辺における事故防止にご協力下さい。

- ① 東側駐車場への坂道と交差点・・・凍結，すれ違いにご注意下さい。また，坂道下のT字では事故防止のため一時停止にご協力下さい。
- ② 西側駐車場への入り口付近・・・児童生徒も多く通ります。学童（留守家庭児童センター）下の路面凍結や，すれ違いにご注意下さい。
- ③ 小学校体育館前・・・・・・・・児童生徒が多く通ります。送迎時の車の出入りも多い場所です。通行時は最徐行でお願いします。
- ④ 斉藤商店周辺（交差点）・・・・見通しが悪くまた狭い交差点です。路面が凍結しやすい場所でもあります。通行時は最徐行でお願いします。

阿部SC，菅野SSWの勤務日

	スクールカウンセラー（SC）	スクールソーシャルワーカー（SSW）
特徴	カウンセリング等を通して，児童生徒の悩みや抱えている問題の解決を支援する心理の専門家。	児童生徒を取り巻く環境に働きかけて，家庭，学校，地域の橋渡しなどにより，児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する福祉の専門家。
勤務日	1月 9（木），17（金），24（金） 30（木） 2月 6（木），13（木），27（木）	1月 9（木），16（木），23（木） 30（木） 2月 13（木），20（木），27（木）

※SC，SSWのどちらも，保護者の方が面談予約をされる場合は教頭まで連絡を下さい。

「PTA会長のたわいもないひとりごと」

【できることから】



大谷中学校PTA会長 遠藤 典明

学校だより「ハチドリ」に「PTA会長のたわいもないひとりごと」を掲載させていただいてから、保護者の方々から感心されることがあります。

そんなことは、ありません。自分は「子ども達のため」という思いは強いのですが、「安請け合い」をする性分でPTA会長職を申し出たものの、歴代のPTA会長の功績には、到底及ばないと感じていました。

そこで自分が『できることから』しようと、「たわいもないひとりごと」をやらせてもらいました。『できることから』始めて、自分の「色」を出そうと思いました。

「たわいもないひとりごと」をご覧になって、私のメッセージが1ワードでも心に響いて、心に残ってもらえたら幸いです。

この『できることから』は、大谷中生が行っている「ハチドリ計画」にも通ずるところがあります。【大谷中ホームページ「ハチドリ計画」参照】

私がしていることは、「ハチドリのひとしずく」かもしれませんが、『できることから』していけば、きっと何か変わるはず。必ずプラスになるはず。